ペースサン

プール管理用薬剤・機器

多木化学株式会社

大切な資源だから。
もっと大切に、もっと有効に。それだけを追及していきます。

「水を活かし、水とともに。」

それが、多木化学のテーマです。

夏の代表的なスポーツ・レジャーである水泳。
青空の下、“ザブン”と水しぶきをあげて泳ぐプールは
夏一番の楽しみです。
ペースサンは、プールにおける水質管理をトータルに
サポートし、もっとおもしろく、
もっとさわやかな夏を演出します。

INDEX

殺菌・消毒剤（第２類医薬品）

ベースサンニュートラルG（速溶性顆粒剤）……3
ベースサンニュートラルT（速溶性錠剤）……3
ベースサントップGX（持続性顆粒剤）……4

水処理剤（プール用塩素剤）

ベースサンニュートラルHG（速溶性顆粒剤）……5
ベースサンニュートラルNT（速溶性錠剤）……5
ベースサントップG（持続性顆粒剤）……6
ベースサントップT（持続性錠剤）……6

補助剤

塩素安定剤（残留塩素安定剤）……7
アルジカット（殺藻・防藻剤）……7
アルジサイド（シーズンオフ用殺藻・防藻剤）……8
クラリファイヤー（清澄化剤）……8
PHプラス（pH調整剤）……9
PHマイナス（pH調整剤）……9
クロールカット（塩素中和剤）……10
タキプールスーパー（珪藻土ろ過助剤）……10

塩素供給機

ベースフィーダー（塩素自動供給機）……11
サンフローター（浮遊式塩素供給器）……12

簡易水質検査試験紙

タキアクアチェック3（簡易水質検査試験紙）……12

水質管理Q&A……13.14
取扱い上の注意……15
プール管理日誌……16.17.18

直接散布用

速溶性顆粒剤

ペースサンニュートラルG

荷姿　NET:12kg段ボール（1kg×12袋）

成　分

ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム　**有効塩素量63%**

特　長

- 水に溶け易く、薬剤投入後、速やかに溶解し、殺菌・消毒効果を発揮します。
- 薬剤のpHはほぼ中性ですから、薬剤投入によるプール水のpHへの影響はほとんどなく、水質管理が容易に行えます。
- 直接、プールに投入しても薬剤によりプールの塗装や材質を傷める心配はありません。

使用方法

●プール水の殺菌・消毒

・遊泳開始5～20分前に標準使用量をプールサイドから、できるだけ均一になるように散布してください。
・風の強い日はあらかじめポリバケツで本剤を水に浸してから散布してください。

標準使用量　3–4時間管理

プール水量（m^3）	使用量（g）
100	200 ～ 300
200	400 ～ 600
300	600 ～ 900
400	800 ～ 1,200
500	1,000 ～ 1,500
1,000	2,000 ～ 3,000

遊泳中の残留塩素の補充は、プール水100m^3当たり残留塩素0.1mg/ℓ上昇させるのに約20g必要です。

●足腰洗槽水の殺菌・消毒

・水1m^3に対し、本剤150～200gの割合で投入し溶解してください。
・水1m^3に対し、20gの割合で補充すると残留塩素は約10mg／ℓ上昇します。

速溶性錠剤

ペースサンニュートラルT

荷姿　NET:10kg段ボール（20g×20錠×25本）

成　分

ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム　**有効塩素量56%**

特　長

- 水に溶け易く、薬剤投入後、速やかに溶解し、殺菌・消毒効果を発揮します。
- 薬剤のpHはほぼ中性ですから、薬剤投入によるプール水のpHへの影響はほとんどなく、水質管理が容易に行えます。
- 直接、プールに投入しても薬剤によりプールの塗装や材質を傷める心配はありません。

使用方法

●プール水の殺菌・消毒

・遊泳開始5～20分前に標準使用量をプールサイドから、できるだけ均一になるように散布してください。

標準使用量　3–4時間管理

プール水量（m^3）	使用量（錠）
100	10 ～ 15
200	20 ～ 30
300	30 ～ 45
400	40 ～ 60
500	50 ～ 75
1,000	100 ～ 150

遊泳中の残留塩素の補充は、プール水100m^3当たり残留塩素0.1mg/ℓ上昇させるのに約1錠（20g）必要です。

●足腰洗槽水の殺菌・消毒

・水1m^3に対し、本剤8～10錠の割合で投入し溶解してください。
・水1m^3に対し、1錠（20g）の割合で補充すると残留塩素は約10mg／ℓ上昇します。

ご使用にあたっては、15ページ「取扱い上の注意」をお読みください。

塩素自動供給機（ペースフィーダー）用

持続性顆粒剤

ペースサントップGX

荷姿　NET:12kg段ボール（1kgx12袋）

成　分

トリクロルイソシアヌル酸　**有効塩素量90%**

特　長

- 本剤専用の塩素自動供給機「ペースフィーダー」を使用することで、遊泳中でも塩素が均一に長時間供給されます。
- 塩素濃度は高く持続性に優れ、強力な殺菌・消毒効果を発揮します。
- 遊泳中でも薬剤が直接、人体に触れることなく安全に供給できます。

使用方法

●プール水の殺菌・消毒

・本剤専用のペースフィーダーを使用してください。
・遊泳開始30～60分前に標準使用量を充填し供給を開始してください。

ペースフィーダー

標準使用量　1日管理

プール水量（m³）	使用量（g）
100	200 ～ 400
200	400 ～ 800
300	600 ～ 1,200
400	800 ～ 1,600
500	1,000 ～ 2,000
1,000	2,000 ～ 4,000

注意・警告事項

- ペースフィーダーにはペースサントップGX以外の薬剤を絶対に使用しないでください。
- プールの塗装を傷め脱色させますので、カラフルなプールへの直接投入はしないでください。
- 長時間使用するとプール水のpHが下がる場合があります。このような場合は、PHプラスでpHを上げてください。

ご使用にあたっては、15ページ「取扱い上の注意」をお読みください。

水処理剤（プール用塩素剤）

直接散布用

速溶性顆粒剤

ペースサンニュートラルHG

荷姿　NET:12kg段ボール（1kg×12袋）

成　分

ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム　**有効塩素量63%**

特　長

- 水に溶け易く、薬剤投入後、速やかに溶解し、効果を発揮します。
- 薬剤のpHはほぼ中性ですから、薬剤投入によるプール水のpHへの影響はほとんどなく、水質管理が容易に行えます。
- 直接、プールに投入しても薬剤によりプールの塗装や材質を傷める心配はありません。

使用方法

●プール水の塩素処理

・遊泳開始5～20分前に標準使用量をプールサイドから、できるだけ均一になるように散布してください。
・風の強い日はあらかじめポリバケツで本剤を水に浸してから散布してください。

標準使用量　3-4時間管理

プール水量（m³）	使用量（g）
100	200 ～ 300
200	400 ～ 600
300	600 ～ 900
400	800 ～ 1,200
500	1,000 ～ 1,500
1,000	2,000 ～ 3,000

遊泳中の残留塩素の補充は、プール水100m³当たり残留塩素0.1mg/ℓ上昇させるのに約20g必要です。

速溶性錠剤

ペースサンニュートラルNT

荷姿　NET:10kg段ボール（1kg×10袋）

成　分

ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム　**有効塩素量56%**

特　長

- 水に溶け易く、薬剤投入後、速やかに溶解し、効果を発揮します。
- 薬剤のpHはほぼ中性ですから、薬剤投入によるプール水のpHへの影響はほとんどなく、水質管理が容易に行えます。
- 直接、プールに投入しても薬剤によりプールの塗装や材質を傷める心配はありません。

使用方法

●プール水の塩素処理

・遊泳開始5～20分前に標準使用量をプールサイドから、できるだけ均一になるように散布してください。

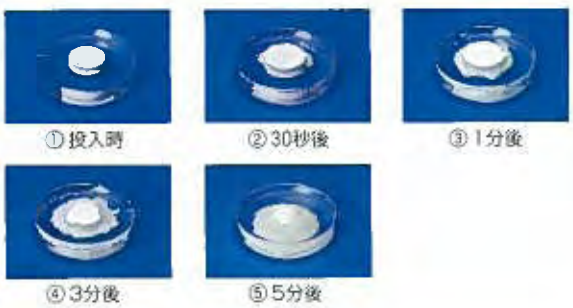
標準使用量　3-4時間管理

プール水量（m³）	使用量（錠）
100	10 ～ 15
200	20 ～ 30
300	30 ～ 45
400	40 ～ 60
500	50 ～ 75
1,000	100 ～ 150

遊泳中の残留塩素の補充は、プール水100m³当たり残留塩素0.1mg/ℓ上昇させるのに約1錠（20g）必要です。

水1m³に対し、1錠（20g）の割合で補充すると残留塩素は約10mg/ℓ上昇します。

（崩壊状態）



ご使用にあたっては、15ページ「取扱い上の注意」をお読みください。

塩素自動供給機（ペースフィーダー）用

持続性顆粒剤

ペースサントップG

荷姿　NET:12kg段ボール（1kgx12袋）

成　分

トリクロルイソシアヌル酸　**有効塩素量90%**

特　長

- 本剤専用の塩素自動供給機「ペースフィーダー」を使用することで、遊泳中でも塩素が均一に長時間供給されます。
- 塩素濃度は高く持続性に優れ、強力な効果を発揮します。
- 遊泳中でも薬剤が直接、人体に触れることなく安全に供給できます。

使用方法

●プール水の塩素処理

・本剤専用のペースフィーダーを使用してください。
・遊泳開始30～60分前に供給を開始してください。

標準使用量

1日管理

プール水量（m³）	使用量（g）
100	200 ～ 400
200	400 ～ 800
300	600 ～ 1,200
400	800 ～ 1,600
500	1,000 ～ 2,000
1,000	2,000 ～ 4,000

注意・警告事項

- ペースフィーダーにはペースサントップG以外の薬剤を絶対に使用しないでください。
- プールの塗装を傷め脱色させますので、カラフルなプールへの直接投入はしないでください。
- 長時間使用するとプール水のpHが下がる場合があります。このような場合は、PHプラスでpHを上げてください。

浮遊式塩素供給器（サンフローター）用

持続性錠剤

ペースサントップT

荷姿　NET:10kg段ボール（1kgx10袋）

成　分

トリクロルイソシアヌル酸　**有効塩素量90%**

特　長

- 本剤を浮遊式塩素供給器「サンフローター」に充填し、プールに浮かべると水中でゆっくり溶解し、塩素を供給します。
- 土曜日曜、お盆休み、長雨などしばらくプールを休止する期間、夜間などの塩素供給に最適です。

使用方法

●プール水の塩素処理

・本剤専用のサンフローターを使用してください。
・一回の薬剤充填（1kg）で約5日間、塩素を供給できます。
・プールの大きさにあわせて必要な基数のサンフローターをプールに浮かべてください。

サンフローター

標準使用量

プール水量（m³）	サンフローターの数	使用可能日数（薬剤1kg充填により）
100	1	約5日間
200	2	約5日間
300	3	約5日間
400	4	約5日間
500	5	約5日間

注意・警告事項

- サンフローターにはペースサントップT以外の薬剤を絶対に使用しないでください。
- プールの塗装を傷め脱色させますので、カラフルなプールへの直接投入はしないでください。
- 長時間使用するとプール水のpHが下がる場合があります。このような場合は、PHプラスでpHを上げてください。

ご使用にあたっては、15ページ「取扱い上の注意」をお読みください。

残留塩素安定剤

塩素安定剤

荷姿　NET:15kg段ボール(5kgx3袋)

成　分

イソシアヌル酸　　顆粒

特　長

- 紫外線の影響でプール水中の有効塩素が急激に分解するのを防ぎ、塩素を安定化させ持続性を向上させます。
- 塩素剤を節減でき維持管理が容易に行えます。
- 有機系塩素剤のほかに次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸カルシウムをお使いの場合でも使用できます。

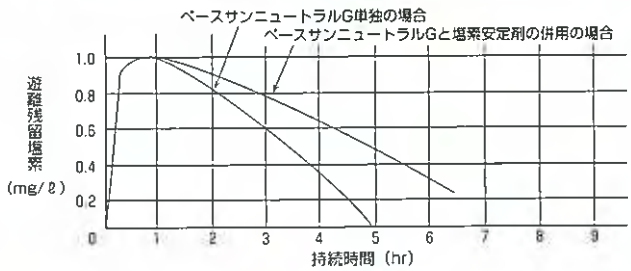
使用方法

- 全換水時に、集水口を避けて標準使用量を均一に散布してください。
- 注水開始後、プール水深が30cm程度に達したときに散布すると溶解が速く作業が簡単です。

標準使用量

プール水量(m³)	使用量(kg)
100	3
200	6
300	9
400	12
500	15

〈実施例〉



注意・警告事項

- ベースフィーダーによる注入は絶対にしないでください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
- 誤って飲んだ場合は直ちに多量の水を飲み、医師の診断を受けてください。

殺藻・防藻剤

アルジカット

荷姿　NET:10kg段ボール(1kgx10袋)

成　分

ジクロルイソシアヌル酸ナトリウム　　速溶性顆粒

特　長

- 薬剤投入後、速やかに溶解し、殺藻・防藻効果を発揮します。
- シーズン中の藻の殺藻、防藻、シーズン前の清掃に使用すると効果的です。

使用方法

●藻の発生予防
プール使用期間中、週1回(特に降雨のときはその都度)遊泳終了後に、プール水100m³に対しアルジカット500～600gを投入してください。

●殺藻
藻が発生した場合は遊泳を中止し、ろ過機を停止した後、プール水100m³に対しアルジカット約2kgを投入してください。翌日、ろ過機は通常運転してください。この場合、クラリファイヤーを併用すると一層効果的です。

●プールの清掃
ポリバケツを使用し、水10ℓに対し、アルジカットを30～50gの割合で溶解し、ブラッシングしてください。尚、プール清掃の5～6日前にプール水100m³に対し3～4kgを投入した後、清掃時にブラッシングすると藻や汚れが落ち易く清掃が簡単になります。

ご使用にあたっては、15ページ「取扱い上の注意」をお読みください。

殺藻・防藻剤（シーズンオフ用）

アルジサイド

荷姿　NET:10kg(バッグインボックス)
NET:10kg段ボール(1kgx10本)

成　分

カチオン系ポリマー　　茶褐色透明液体

特　長

- 藻類、バクテリア、カビ等の繁殖を長期に亘り抑制します。
- 塩素剤と違って紫外線の影響を受けません。
- プールの塗装や材質を傷める心配はありません。

使用方法

- プールシーズン終了後、標準使用量を投入してください。1回の投入で2～8ヶ月効果が持続しますので、翌シーズンのプールの清掃が簡単になります。

標準使用量

プール水量(m³)	使用量(kg)
100	3 ～ 4
200	6 ～ 8
300	9 ～ 12
400	12 ～ 16
500	15 ～ 20

注意・警告事項

- 目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石けんを用いてよく洗い、異常がある場合は医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに水、牛乳、生卵等を与えて医師の診断を受けてください。
- 直射日光を避け冷暗所に保管してください。

清澄化剤

クラリファイヤー

荷姿　NET:10kg(バッグインボックス)
NET:10kg段ボール(1kgx10本)

成　分

カチオン系ポリマー　　淡黄色透明液体

特　長

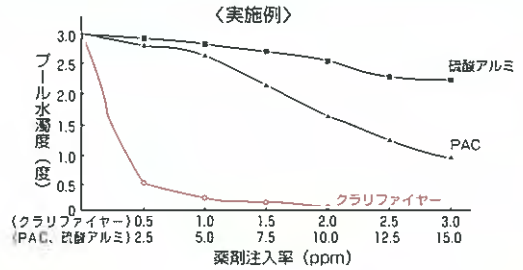
- プール水の濁りや色を凝集して、ろ過機で除去し易くします。
- 米国では広く飲料水の処理に使用されています。

使用方法

- 10～50倍程度に希釈して、均一になるようにプールに散布するか、または定量注入ポンプで希釈液をろ過機の出口に注入してください。
- 注入後はろ過機を一夜連続運転してください。

標準使用量（原液）

プール水量(m³)	濁りが多い場合(g)	濁りが少ない場合(g)
100	100 ～ 200	50 ～ 100
200	200 ～ 400	100 ～ 200
300	300 ～ 600	150 ～ 300
400	400 ～ 800	200 ～ 400
500	500 ～ 1,000	250 ～ 500



注意・警告事項

- 目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
- 誤って飲んだ場合は直ちに多量の水を飲み、医師の診断を受けてください。
- 原液は腐食性がありますので、金属性の容器に移し換えることは避けてください。

pH調整剤

PHプラス

荷姿　NET:15kg段ボール(5kgx3袋)

成　分

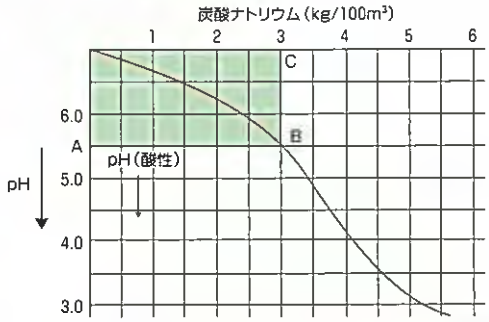
炭酸ナトリウム　　粉末

使用方法

- プール水が酸性になった場合に使用してください。
- プールサイドから、できるだけ均一になるように直接、プールに散布してください。
- あらかじめポリバケツで溶解し散布すると作業が簡単です。

標準使用量

プール水のpHと調整剤の添加量(プール水100m³当たり)



用例　400m³プールでpH=5.5の場合必要な調整剤の量は、
(1)グラフの縦軸より5.5を求めます。(A点)
(2)Aより水平に右へ延長し曲線とぶつけます。(B点)
(3)Bより垂直に上げ横軸とぶつかった点(C)の目盛を読むと3と出ます。
必要な量は3×400／100=12kg

注意・警告事項

- ベースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
- ベースフィーダーによる注入は絶対にしないでください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
- 誤って飲んだ場合は直ちに多量の牛乳または水を飲ませて吐かせ、医師の診断を受けてください。

pH調整剤

PHマイナス

荷姿　NET:15kg段ボール(5kgx3袋)

成　分

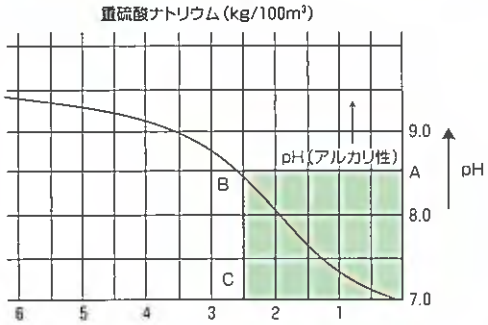
重硫酸ナトリウム　　フレーク状

使用方法

- プール水がアルカリ性になった場合に使用してください。
- プールサイドから、できるだけ均一になるように直接、プールに散布してください。
- あらかじめポリバケツで溶解し散布すると作業が簡単です。

標準使用量

プール水のpHと調整剤の添加量(プール水100m³当たり)



用例　400m³プールでpH=8.5の場合必要な調整剤の量は、
(1)グラフの縦軸より8.5を求めます。(A点)
(2)Aより水平に左へ延長し曲線とぶつけます。(B点)
(3)Bより垂直に降ろし横軸とぶつかった点(C)の目盛を読むと2.6と出ます。
必要な量は2.6×400／100=10.4kg

注意・警告事項

- ベースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
- ベースフィーダーによる注入は絶対にしないでください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
- 誤って飲んだ場合は直ちに多量の水を飲み、医師の診断を受けてください。
- 吸湿性がありますので乾燥した場所に保管してください。強アルカリ性物質と接触すると危険ですから、同一場所に保管しないでください。

塩素中和剤

クロールカット

荷姿　NET:5kg段ボール(1kgx5袋)

成　分　チオ硫酸ナトリウム　　粗粒剤

特　長

●高濃度の残留塩素を含むプール水を放流する場合やプール本体の残留塩素が異常に高い場合に残留塩素を中和します。

使用方法

●クロールカットを投入する前に処理水の残留塩素濃度を測定して、それに応じて投入量を決めてください。
●クロールカットをあらかじめバケツで溶解し、できるだけ均一になるように散布してください。

標準使用量

水量 ＼ 残留塩素濃度	50ppm	75ppm	100ppm
0.5m³	25g	37g	50g
1.0m³	50g	75g	100g
1.5m³	75g	110g	150g

プール水100m³当たり残留塩素濃度を1ppm下げるのに必要なクロールカットは100gです。

$$100m^3 \times 1ppm = 100g$$

プール水　残留塩素　クロールカット量

注意・警告事項

●ベースサンや他の薬剤との混合使用は絶対にしないでください。
●ベースフィーダーによる注入は絶対にしないでください。
●酸化剤と直接に混合すると反応して発熱し、強酸と接触すると有害な亜硫酸ガスが発生しますので、酸化剤・強酸との混合・接触は絶対にしないでください。
●目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
●誤って飲んだ場合は直ちに多量の牛乳または水を飲み、医師の診断を受けてください。

珪藻土ろ過助剤(pH低下防止剤配合)

タキプールスーパー

荷姿　NET:20kg(三層クラフト紙袋)

成　分　珪藻土　　粉末

特　長

●天然の無機成分(pH低下防止剤)を配合しておりますので、プール水のpHを中性に保つことができます。
●無機成分は必要以上に溶解しませんので、pHがアルカリ性になることはありません。
●ろ過性能は一般の珪藻土と変わりません。

使用方法

●一般の珪藻土と同じ要領でお使いください。
●標準使用量は、ろ過面積1m²に対し0.5～1.0kgです。

注意・警告事項

●目に入った場合は直ちに多量の水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合は直ちに水で洗い流してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。
●誤って飲んだ場合は水で口の中をよく洗浄してください。異常がある場合は医師の診断を受けてください。

塩素自動供給機

ペースフィーダー（ペースサントップGX、トップG用）

この装置はペースサントップGX、トップG（トリクロルイソシアヌル酸、顆粒剤）をより安全・効果的に使用するための塩素自動供給機です。
薬剤溶解液をより円滑に短時間でプールに均一に供給し、長時間有効塩素を持続させることを目的としています。
誰にでも安心して簡単に操作、管理ができる装置です。

特 長

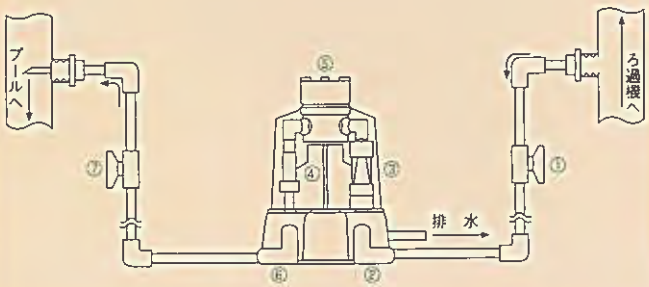
- プールの循環配管に取り付けるだけで、別途専用ポンプなどの動力を必要としません。
- 故障の原因になり易い動力を使用しないため、メンテナンスが容易に行えます。
- 遊泳中でも、遊泳者に直接触れずに安全・簡単に薬剤の供給ができます。
- 薬剤容器は耐圧ガラス製で薬剤量、溶解状態が一目でわかります。

トップGX、トップG

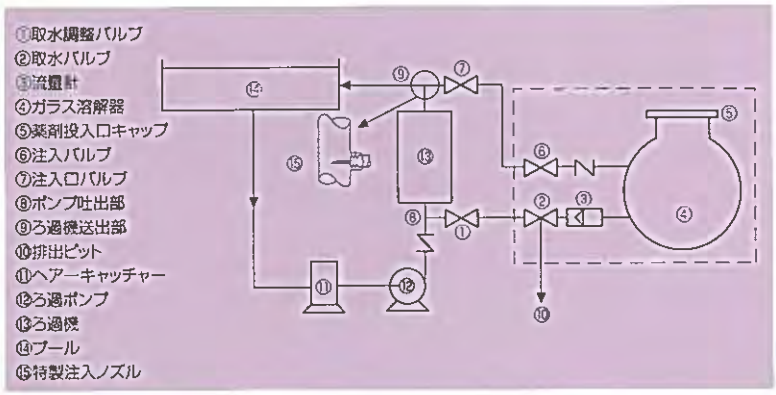
仕 様

高さ（Ｈ）	480mm
幅（Ｗ）	364mm
長さ（Ｌ）	466mm
重量（WT）	約7kg
使用対象プール水量	100～1,300m³
本体（ガラス溶解容量）	約4ℓ
薬剤充填量（１回）	最適0.7～1.5kg 最大2.0kg
設置基準	プール水循環装置内に組込

構造図



フローシート



注意・警告事項

- ペースサントップGX、トップG以外の薬剤は絶対に使用しないでください。
- ペースサントップGX、トップGと他の薬剤（［例］カルハイポ、ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤー、高度さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）とを混合して使用しますと化学反応により急激な塩素ガスの発生や爆発を起こすことがありますのでペースサントップGX、トップG以外の薬剤は絶対に使用しないでください。
- ペースサントップGX、トップGをフィーダーの中に残した状態でペースフィーダーの運転を停止しないでください。薬剤が固まったり、塩素ガスが発生する場合があり危険です。
- その他、ペースフィーダーの取扱説明書をご参照ください。

浮遊式塩素供給器

サンフローター
（ペースサントップT用）

荷姿:4基／箱

サンフローターにペースサントップT（トリクロルイソシアヌル酸）を充填し、浮かべるだけで塩素を長期にわたって無人で供給できます。土曜日曜、お盆休み、長雨など、しばらくプールを休止する期間、夜間などの塩素供給に最適です。

特　長

- ●1回の薬剤の充填（1kg）で約5日間、塩素を供給できます。
- ●薬剤が直接、プールの壁や底に接触しないため、プールの塗装や材質を傷める心配はありません。
- ●取り扱いは薬剤を充填しフローターを浮かべるだけで簡単です。

使用方法

- ●サンフローターにはペースサントップTを最大1kg充填できます。
- ●プールの大きさにあわせてサンフローターの必要な基数をプールに浮かべてください。

注意・警告事項

- ●ペースサントップT以外の薬剤は絶対に使用しないでください。
- ●ペースサントップTと他の薬剤（[例] カルハイポ、ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤー、高度さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）とを混合して使用しますと化学反応により急激な塩素ガスの発生や爆発を起こすことがありますのでペースサントップT以外の薬剤は絶対に使用しないでください。

簡易水質検査試験紙

タキアクアチェック3

荷姿　1箱:600枚（100枚入り×6本）

タキアクアチェック3は試験紙タイプです。
プールの水質管理に必要な遊離残留塩素、pH、総アルカリ度の3項目を直ちに同時に測定できます。

測定範囲

遊離残留塩素：0、0.2、0.4、0.7、1.0、2.0、3.0mg／ℓ
pH　　：5.8、6.5、7.0、7.5、8.0、8.6
総アルカリ度：0、20、40、80、120、180mg／ℓ

使用方法

1
試験紙を水に浸し、直ちに取り出してください。

2
試験紙を水平にして、15秒間待ってください。

3
遊離残留塩素、pH、総アルカリ度の試験部分を各々の色調表で比色して判定してください。

水質管理Q&A

Q プールの水質基準は？

A

	厚生労働省通達(H13.7.24)	文部科学省学校環境衛生の基準(H13.8.28)
給水原水	—	飲料水基準に適合するものであることが望ましい。
pH	5.8～8.6	5.8～8.6
濁度・透明度	2度以下	2度以下
過マンガン酸カリ消費量	12mg／ℓ以下	12mg／ℓ以下
遊離残留塩素	0.4mg／ℓ以上であること。 また1.0mg／ℓ以下であることが望ましい。	プールの対角線上3点以上を選び、 表面及び中層で0.4mg／ℓ以上であること。 また1.0mg／ℓ以下であることが望ましい。
大腸菌群	検出されないこと。	検出されないこと。
一般細菌数	200CFU／mℓ以下であること。	200CFU／mℓ以下であること。
総トリハロメタン	おおむね0.2mg／ℓ以下が望ましい。	0.2mg／ℓ以下が望ましい。

Q プールの水質検査とは？

A

日常検査

- 塩素管理　プール本体　遊離残留塩素濃度の測定（0.4～1.0mg／ℓ）　遊泳前、遊泳中1時間に1回以上
- 塩素管理　足腰洗槽　遊離残留塩素濃度の測定(50～100mg／ℓ)　1日に数回
- pH管理　pH値の測定（5.8～8.6）　遊泳前1日1回以上
- 透明度　水中で3m離れた位置からプール壁面が明確に見える程度に保持する。（ろ過機の適時点検）
- 水温　屋外プール（適温）24～25℃　屋内プール（適温）29～30℃
- 外観　浮遊物・沈殿物・危険物（石・ガラス破片など）がないこと。

※日常検査を徹底して頂くためにも、プール管理日誌を付けることをお奨めします。（参考例　16～18ページ参照）

定期検査

- 過マンガン酸カリ消費量、大腸菌群、一般細菌数の測定　毎月1回以上
- 総トリハロメタンの測定　毎年1回以上

Q 遊離残留塩素の殺菌効果は？

A

菌の致死量（15秒～30秒）

遊離残留塩素濃度	死滅菌
0.1mg／ℓ	チフス菌、赤痢菌、パラチフス菌、コレラ菌、黄色ブドウ球菌、淋菌
0.15mg／ℓ	ジフテリア菌、脳脊髄膜炎菌
0.2mg／ℓ	肺炎球菌
0.25mg／ℓ	大腸菌、溶血性連鎖球菌

Q 遊離残留塩素が基準値であるのに、大腸菌が検出されたのは？

A

pHがアルカリ性であるためです。プールの水質基準ではpH5.8～8.6とされていますが、同じ塩素濃度でも中性（pH7）より高い（アルカリ性）ほど殺菌力は弱くなり、低い（酸性）ほど強くなります。pHを確認の上、pH調整剤で中性にしてください。

pH5.8 ←（殺菌力が強くなる）— pH7 —（殺菌力が弱くなる）→ pH8.6

Q 塩素剤を投入しても遊離残留塩素が検出されないのは？

A プール水が著しく酸性、またはアルカリ性になっていると遊離残留塩素は検出されません。
pHを確認の上、pH調整剤で中性にしてください。
プール水の汚れがひどい場合は、汚れが塩素を消費して遊離残留塩素は検出されません。スーパークロリネーションをしてください。
スーパークロリネーション（過剰塩素処理）
遊泳者が多く、汗、尿等の有機物で汚染されている場合、過剰な塩素を投入し一時的に汚れを取り除きます。
プール水100m^{3}に対しベースサンニュートラルG2kgを投入してください。

Q プール水が変色したのは？

緑色になった。

A 藻が発生した。
遊泳を中止し、ろ過機を停止した後、プール水100m^{3}に対しアルジカット2kgを投入してください。翌日、ろ過機は通常運転してください。この場合、クラリファイヤーを併用すると一層効果的です。

茶褐色になった。

A 鉄分、マンガン等金属イオンの影響
遊泳を中止し、ろ過機を停止した後、プール水にPHプラスを投入しpHを7.5～8.0に調整してください。続いてプール水100m^{3}に対しニュートラルG1kgを投入し、ろ過機は通常運転してください。この場合、クラリファイヤーを併用すると一層効果的です。

白濁した。

A 遊泳者数が著しく多くなると、水質が悪化し、濁りが発生します。
スーパークロリネーションを行うかクラリファイヤーにより短期間でプール水を清澄化できます。
防止策　1:遊泳前、身体のシャワー洗浄を徹底してください。
2:ろ過機の運転管理を確実に行ってください。
3:新水補給を充分に行ってください。（1日あたりプール水量の10%程度）

Q 遊泳中に目が痛むのは？

A pH異常の場合
酸性の場合はPHプラス、アルカリ性の場合はPHマイナスで調整しpHを中性にしてください。
残留塩素が高すぎる場合
クロールカットで中和してください。
水が濁っている場合
スーパークロリネーションを行ってください。

Q 足腰洗槽の排水方法は？

A 必ず塩素中和剤クロールカットで中和し、排水してください。

Q 水質のトラブルを未然に防ぐには？

A 日中の塩素管理はもちろんのこと、遊泳終了後の塩素管理をお奨めします。
夜間の細菌類の増殖を抑制し、藻の発生も防止しますので良好な水質を保持することができます。
遊泳終了後にプール水100m^{3}に対し、ベースサンニュートラルG200～300gを投入してください。

警告

取扱い上の注意

第２類医薬品　ペースサンニュートラルG、ペースサンニュートラルT、ペースサントップGX

プール用塩素剤　ペースサンニュートラルHG、ペースサンニュートラルNT、ペースサントップG、ペースサントップT

殺藻・防藻剤　アルジカット

本品は、プール専用の薬剤です。本用途以外では使用しないでください。
本品は強力な酸化剤ですので、貯蔵及び取扱いの際には次の点にご注意ください。

●酸、アルカリ、脱塩素剤（チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ）、油脂、グリース類その他の可燃物と直接触れないようにしてください。
●本品は飲み込むと有害です。
●目や呼吸器系を刺激します。

①他の塩素系消毒剤、次亜塩素酸ソーダ、次亜塩素酸カルシウム（[例]カルハイポ、ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤー、高度さらし粉等）との直接混合での使用は絶対に避けてください。急激な塩素ガスの発生や爆発を起こします。
②火気、熱（機械室、ボイラー室等）、直射日光等を避け湿気の少ない涼しい場所へ保管してください。
③金属を腐食しますので、使用する容器等は、樹脂性の材質をお選びください。
④使い残りは密封保管して下さい。他の容器への詰め替えはしないでください。
⑤火災の原因になりますのでゴミ箱やゴミ捨て場に絶対に捨てないでください。処分する場合には販売店等にお問い合わせください。
⑥目・鼻・口へ入らないようにしてください。もし目に入った場合は、擦らないで水で15分以上洗浄してください。また、誤って飲み込んだ場合には直ちに医師の手当を受けてください。
⑦皮膚または衣服に付着した場合は、直ちに払い落とし、水で充分に洗い流してください。
⑧子供の手の届かないところに保管してください。
⑨火災時は、現場から遠ざけて類焼を避けてください。消火の場合は、大量の水をかけてください。

緊急連絡先

仙台営業所：022(265)0691
東京営業所：03(3543)1905
名古屋営業所：052(773)3361
大阪営業所：06(6444)3306
加古川営業所：079(437)2000
福岡営業所：093(761)0277
夜間・休日：079(437)6008

月　日（　曜日）責任者名

時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
温度	水温	℃	℃	℃	℃	℃	℃
	気温	℃	℃	℃	℃	℃	℃
投入ペースサン量	本体	g	g	g	g	g	g
	足腰洗槽	g	g	g	g	g	g
入泳人員		人	人	人	人	人	人
残留塩素（mg／ℓ）	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	平均						
	1.0						
	0.7						
	0.4						
	足腰洗槽						
pH							
透明度							
機材の点検類	循環系						
	その他						
備考	プール内掃除						
	その他						
記入者名							

月　日（　曜日）責任者名

時間		時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分
温度	水温	℃	℃	℃	℃	℃	℃
	気温	℃	℃	℃	℃	℃	℃
投入ペースサン量	本体	g	g	g	g	g	g
	足腰洗槽	g	g	g	g	g	g
入泳人員		人	人	人	人	人	人
残留塩素（mg／ℓ）	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	平均						
	1.0						
	0.7						
	0.4						
	足腰洗槽						
pH							
透明度							
機材の点検類	循環系						
	その他						
備考	プール内掃除						
	その他						
記入者名							

多木化学株式会社

本　　社	〒675-0124	兵庫県加古川市別府町緑町2番地 TEL. (079) 437-2000
仙台営業所	〒980-0811	仙台市青葉区一番町一丁目4番1号 TEL. (022) 265-0691
東京営業所	〒104-0061	東京都中央区銀座七丁目14番4号 TEL. (03) 3543-1905
名古屋営業所	〒465-0092	名古屋市名東区社台三丁目90番地 TEL. (052) 773-3361
大阪営業所	〒550-0002	大阪市西区江戸堀一丁目2番11号 TEL. (06) 6444-3306
加古川営業所	〒675-0124	兵庫県加古川市別府町緑町2番地 TEL. (079) 437-2000
福岡営業所	〒808-0022	福岡県北九州市若松区安瀬64番70 TEL. (093) 761-0277

代理店

0905M